



ご挨拶

第60次式年造替奉賛会総裁
日本赤十字社 社長

近衛 忠輝



春日大社は奈良朝の昔、平城遷都とともにその守り神として秀麗な御蓋山の麓に鎮祭されたと伝えられます。創建されてから1200余年、この間、伊勢神宮と同様、ほぼ20年毎に行われてきた式年造替という大事業によりまして万古変わらぬ朱塗りの柱もあでやかな四所の神殿が継承され、境内の原生林が守られて参りました。

近年、殊に日本固有の伝統文化が見直され、その維持保存が叫ばれておりますが、この春日大社の式年造替こそ、かけがえのない日本の伝統文化を代表するひとつであろうかと存じます。しかしながらその維持保存は言うべくして非常に難しく、関係者の苦労はまことに大きいものがあります。多年に亘る社会構造の変化、また東日本大震災など、社会状況は以前にも増して大変な時代となっております。

春日大社は鎮護国家・国民安泰を願うお社であります。変わらぬ国民の崇敬によりまして子々孫々までこの緑豊かな文化の殿堂を変わらぬ姿で後世に継承すべく、皆様方のご理解を仰ぐ外はないと存じます。

関係各位の力強いご支援のもとに、今次式年造替が目標通り立派に完成しますことを心から祈念いたします。



千古の柱に覆われた春日大社境内と神山御蓋山（飛火野より）